

出力環境の全社統制基盤を構築

佐川急便株式会社 様



佐川急便株式会社様は、38,585人の社員を擁し*1、日本全国各地に営業店を設置して地域密着型のサービスを提供する大手宅配便会社です。

*1 2009年3月期現在

背景

全国に支社や支店、営業店を持つ佐川急便株式会社様（以下敬称略）では、各現場での購買業務を本社でコントロールすることが必要とされていました。そのため、購買管理課を設立し、これまで購買におけるさまざまな課題解決に取り組んでこられました。出力環境に関して、機器の購入のみならず運用・管理に関する更なる改善を求め、新しい枠組みを模索していました。

課題

購買管理課では、コスト削減に向けた取り組みとして購入価格の適正化を図ってきました。しかし、出力機器の購入や管理に関しては支社や営業店単位で行っており、機器台数や紙の使用量は結果的に増え、出力全般における総支出は増加の傾向にありました。また、低公害車である天然ガストラックを国内民間企業最多の約4,300台を保有するなど、同社では環境への取り組みも積極的に実施しています。

ISO14001の取り組みの中で、「紙の3%削減」という目標を掲げていたものの、紙の使用量は一定期間にかかった経費でしか把握することができず、現状の使用量を把握した上での具体的な用紙削減の対策を打つことが困難でした。

このようなことから、全社で統一された運用ルールのもとで、効率的な出力環境の統制管理を可能とする抜本的な仕組みの改善が必要とされていました。

そこで富士ゼロックスが提案したのが、マネージド・プリント・サービス「XOS」（エックス・オー・エス）でした。従来の購入価格の統制だけではなく、台数や枚数の統制に着手することで、TCO（Total Cost of Ownership）を下げられることを訴求したのです。

「全体の統制が可能な管理基盤を構築し、出力に関する現状を可視化することで、社員一人ひとりの意識を変えていくことが重要だと考えていました。単なるコスト削減だけではなく、社内教育なども含めてトータルでサポートしてくれる新しい取り組みへの期待、また一緒に進めていきたいという積極的な姿勢を示してくれた富士ゼロックスをパートナーとして選ぶことにしました」

総務部 購買管理担当 部長
浅野 道彦様

解決策

「XOS」では、まず佐川急便と富士ゼロックスで削減効果目標を設定します。契約前に全国の本社・支社や営業店の実地調査を行ない、現場の出力における課題、出力機器管理業務プロセスおよび出力機器利用状況を分析し、現状のTCOを「見える化」します。主要拠点を直接訪問したことで、各支社においても出力機器や枚数の状況を継続的に把握することに課題を抱えていたことがわかりました。この実地調査の結果に基づき、富士ゼロックスは削減効果目標を達成するための最適な出力環境を設計、移行プランに沿って、順次、最適化を行なっていきました。

成果

こうして全国拠点の出力機器を横断的にマネジメントし、効果的な出力環境の管理とコスト削減を進めていくための統制基盤を構築することができました。結果として、ユーザーの利便性を維持しながら、従来使用していた出力機器を30%以上削減すると同時に、20%以上のTCO削減を見込んでいます。また、この基盤構築にあたり、佐川急便は新たな投資をする必要はありませんでした。同社では今後、全社を横断的に管理する基盤のもと、この手法を他の業務においても積極

さらに、最適な出力環境を維持するための運用ルール作りや、それを活用するためのユーザー・管理者トレーニングを実施しました。また、リモートで当社のセンターから全ての出力機器の状況を監視し、タイムリーに消耗品の配送や故障修理を実施することで、出力機器はいつでも正常に使える状態で維持されるようになりました。その結果、全社レベルでの出力環境を改善し、それを維持することで、出力TCOを大幅に削減することが可能になりました。

的に活用することで、さらなるコスト削減や利便性向上を目指していきます。さらに環境面における効果にも期待しています。用紙の使用状況をリアルタイムで把握することで、用紙使用量の削減の目標達成に向けて、都度対策が打てるようになりまし購買管理という視点だけでなく、環境負荷低減の活動と連携することで、全従業員の意識をより高め、さらなる効果を期待しています。

サマリー

<<課題>>

- コスト削減に向けた取り組みとして、購買管理課を中心に購入価格の適正化は実施してきたが、全国の支社・営業店における出力機器の購入・管理・運用を含めた統制管理は困難であった。
- 環境負荷低減に向けた活動の一環として、コピー用紙の削減を掲げていながらも、使用料が減らない状況が続いていた。

<<解決策>>

- 最適な出力環境を作るための統一的な運用ルールを含めた全社統制基盤の構築
- 主要拠点における出力機器の最適配置
- ユーザー・管理者トレーニング
- メンテナンスや故障の検知、出力機器の使用状況のモニタリング
- ヘルプデスクによるユーザーサポート
- 出力機器が環境に与える影響をレポート

<<成果>>

- 出力環境の統制基盤構築
- TCOを20%以上削減
- 出力機器の台数を30%以上削減
- 環境負荷の低減